

# 青森商工会議所 経営発達支援計画

## 令和3年度事業報告書

令和4年5月

# 令和3年度事業報告書

## 目 次

- 1. 地域の経済動向調査に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・1 ページ
  - ①経営課題アンケート調査
  - ②中小企業景況調査
  - ③LOBO（早期景気観測）調査
  - ④地域診断サービスによる調査
  
- 2. 需要動向調査に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・2 ページ
  - ①自社店舗等での需要動向調査アンケート
  - ②首都圏ビジネス交流拠点施設（AoMoLink～赤坂～）での消費者ニーズアンケート調査
  
- 3. 経営状況の分析に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・3 ページ
  - ①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと経営分析
  - ②「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析
  - ③「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起しと経営分析
  - ④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の掘り起こしと経営分析
  
- 4. 事業計画策定支援に関すること・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・5 ページ
  - ①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと事業計画策定
  - ②巡回・窓口相談による事業計画策定
  - ③創業・第二創業計画策定支援
  - ④事業承継計画策定支援

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること . . . . . 7 ページ
6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること . . . . . 9 ページ
- ①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 (B to B)
  - ②食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会への出展支援の実施 (B to C)
  - ③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 (B to B)
  - ④IT を活用した販路開拓支援の実施 (B to C)
7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること . . . . . 11 ページ
8. 経営指導員等の資質向上等に関すること . . . . . 12 ページ
- ①「経営指導員等情報交換会」の開催
  - ②組織内での支援ノウハウの共有
9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること . . . . . 13 ページ
- ①小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会
  - ②その他支援機関との情報交換
10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること . . . . . 13 ページ
- ①国内外からの誘客推進事業
  - ②ヘルスケア・ビジネス創造事業
  - ③中心市街地活性化事業
  - ④青森地域5大学等との連携事業
  - ⑤コロナ禍における商取引支援事業

## 1. 地域の経済動向調査に関すること

### (1) 現状と課題

これまで当所では、「経営課題アンケート調査」、「中小企業景況調査」、「LOBO（早期景気観測）調査」を実施し、地域の中小企業・小規模事業者が抱える経営上の課題や景況感を把握し、当所のホームページなどを利用し広く一般に周知を図ってきた。また、調査結果は、当所の支援活動の方向性を決定するデータベースとして活用するとともに、経営指導員等の巡回指導の資料としてきた。しかしながら、販路開拓等の基礎データとなるような国のビッグデータを活用した専門的な分析はできていなかったため、これまでの調査に RESAS を活用した地域の経済動向分析を加え実施した。

### (2) 事業内容

#### ①経営課題アンケート調査

地域の中小企業・小規模事業者が抱える経営上の課題を把握し、当所の今後の経営支援につなげていくため、年間売上及び経常利益の推移状況、直面する経営課題、経営課題に対する対応状況、当所に対する意見・要望を調査した。

【調査対象】当所会員事業所（議員、部会幹事、振興委員、青年部等）

【調査項目】売上及び経常利益推移、直面する経営課題、当所に対する意見要望

【調査手法】調査票を FAX し FAX により回収

【分析手法】経営指導員等が分析

#### ②中小企業景況調査

中小企業の景気動向を総合的に把握することを目的に、中小企業基盤整備機構が四半期毎に実施している中小企業景況調査において、当所対象企業 60 社による当地区内景気動向を把握した。

【調査対象】管内中小企業・小規模事業者（60 社）

【調査項目】売上、資金繰り、仕入、在庫、採算、業況、従業員の状況、設備投資等

【調査手法】調査票を郵送し郵送により回収

【分析手法】当所対象企業の分析は経営指導員等が行い、全体的な分析は中小企業基盤整備機構が行う

#### ③LOBO（早期景気観測）調査

足元の景況感や直面する経営課題などを調査するため、日本商工会議所が毎月実施している LOBO 調査において、当所対象企業 5 社による当地区内の景況感、経営課題等を把握する。全体の調査結果は、日本商工会議所ホームページ及び当所会報「かけはし」等で公表した。

【調査対象】管内中小企業・小規模事業者（5 社）

【調査項目】景況感、経営課題等

【調査手法】調査票を FAX し FAX により回収

【分析手法】当所対象企業の分析は経営指導員等、全体的な分析は日本商工会議所が担った

#### ④地域診断サービスによる調査

日本商工会議所が「RESAS」のデータを基に実施している「地域診断サービス」事業を活用し、地域経済の動向実態を把握し、管内小規模事業者の効果的な経営活動に反映させるため、データに基づいた説得力のある情報提供とその後の事業計画策定に活用した。

【調査項目】地域経済循環・生産分析、まちづくり・From-to 分析、産業構造マップ等

【調査手法】国が提供するビックデータである「RESAS」を活用して地域経済の動向を調査

【分析手法】日本商工会議所が「RESAS」のデータを基に実施している「地域診断サービス」事業を活用した。

### (3) 成果の活用

上記調査の結果は、広く一般に周知を図るため、当所ホームページで公表するほか、当所の常議

員会等各会議での説明や会報「かけはし」でも公表した。また、経営指導員等が巡回指導を行う際の参考資料とした。

### 【目標と結果】

	項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①経営課題アンケート調査	1回	1回	1回	1回	1回
	②中小企業景況調査 60社	4回	4回	4回	4回	4回
	③LOBO（早期景気観測）調査 5社	12回	12回	12回	12回	12回
	④地域診断サービスによる調査	1回	1回	1回	1回	1回
結果	①経営課題アンケート調査	1回				
	②中小企業景況調査 60社	4回				
	③LOBO（早期景気観測）調査 5社	12回				
	④地域診断サービスによる調査	1回				

## 2. 需要動向調査に関すること

### (1) 現状と課題

小規模事業者が持続的に発展していくためには、需要の動向を把握し、それに基づく商品・サービスの開発と販路開拓が必要である。

小規模事業者がこれまでの経験と勘に頼る経営から、データに基づく需要動向を把握した経営へ転換を図るためには需要情報の提供が必要であり、当所ではこれまで、農産加工品等をはじめとする地域の特色のある物産の首都圏における需要動向の調査を行い、商品の「見た目」、「味」、「価格設定」、「内容量」、「パッケージデザイン」等の結果を事業者へフィードバックしてきた。

一方、地域内の顧客がメインである小売・サービス業の小規模事業者へは、データに基づいた需要情報の提供などの支援が十分に実施できていなかったことから、地域内のお客様をターゲットとする小規模事業者を対象にした需要動向調査を新たに実施した。また、外貨獲得を目的とするこれまでの首都圏での需要動向調査を継続した。

### (2) 事業内容

#### ① 自社店舗等での需要動向調査アンケート

経営状況分析や事業計画策定支援を行った、小売・サービス事業者等を対象に自社顧客のニーズ把握を目的に自社店頭等で需要動向アンケート調査の作成支援を行った。実施にあたってはアンケート内容が効果的な項目・構成となるよう、また、効果的な調査時期の選定などについても支援を行った。調査後は、得られたデータから商品・サービスが自社のターゲットやニーズに即しているかを経営指導員が分析し、支援対象事業者にフィードバックした。

【調査手段】店頭等での書面によるアンケート

【分析手段】経営指導員が分析を行い、必要に応じてよろず支援拠点や、ミラサボ等の販路開拓の専門家の協力を仰ぐ

【調査項目】購入者の属性、購入商品、サービス、商品・サービス単価の高低、サービス・接客満足度、その他のニーズなど

【分析結果の活用】調査結果及び分析結果は経営指導員等が当該事業所に直接説明する形でフィー

ドバックし、今後の事業計画策定に反映させるとともに、商品・サービスの見直し、新たな需要開拓に向けた新商品開発へつなげるた。

○支援事業者数 3事業者（(株)ナチュラルプロビジョン（食料品製造業・飲食業）、キズナベーカーリー（パン小売業（製造小売））、(有)青森タネ店（苗・種子小売業））

②首都圏ビジネス交流拠点施設（AoMoLink～赤坂～）での消費者ニーズアンケート調査

AoMoLink～赤坂～は、首都圏での事業展開や地元特産品の販路拡大を目的に青森と首都圏をつなぐビジネスの交流拠点として平成28年3月30日にオープンした青森のアンテナショップである。このアンテナショップ内において、本市の地域資源を活用した食品加工業者等3社、各社1商品に対する「食味」、「価格」、「容量」、「パッケージデザイン」等について、来場する首都圏消費者に対し、アンケート調査を実施した。

【調査手段】ショップ内での書面によるアンケート

【分析手段】経営指導員が分析し、必要に応じてよろず支援拠点や、ミラサポ等の販路開拓の専門家の協力を仰ぐ

【調査項目】購入者の属性、購入商品、サービス、商品・サービス単価の高低、サービス・接客満足度、その他のニーズなど

【分析結果の活用】調査結果及び分析結果は経営指導員等が当該事業所に直接説明する形でフィードバックし、今後の事業計画策定に反映させていくとともに、商品・サービスの見直し、新たな需要開拓に向けた新商品開発へつなげる

○支援事業者数 3事業者（Be Easy Brewing（ビール類製造業）、(有)松栄堂（菓子小売業（製造小売））、(株)エイ・ワンド（各種食料品小売業））

【目標と結果】

	項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①自社店舗等での需要動向調査アンケートの調査対象事業者数	3社	3社	5社	5社	5社
	②首都圏ビジネス交流拠点施設（AoMoLink～赤坂～）での消費者ニーズアンケート調査	3社	3社	5社	5社	5社
結果	①自社店舗等での需要動向調査アンケートの調査対象事業者数	3社				
	②首都圏ビジネス交流拠点施設（AoMoLink～赤坂～）での消費者ニーズアンケート調査	3社				

3. 経営状況の分析に関すること

(1) 現状と課題

当地域の小規模事業者を取り巻く経営環境は年々厳しくなっており、令和元年に当所で実施した経営課題アンケート調査においても前年に比べ、売上が減少したと回答した事業所が、売上が増加したと回答した事業所を18ポイント上回る結果となり、地域の小規模事業者の持続的発展に向

けた経営体質の強化が急務となっている。しかしながら、これまで当所では、巡回・窓口相談によるヒアリングが中心で、具体的な経営分析などの支援が積極的にできていなかった。本事業では小規模事業者の持続的発展に向け、経営指導員等の巡回相談、窓口相談、各金融相談会、経営分析セミナー等により、経営課題を抱え経営状況の分析が必要な小規模事業者の掘り起こしを行い経営状況の分析を行う。そして、得られた分析結果については、「BIZ ミル」等を用いて情報を蓄積し所内での共有を図り、今後の事業計画策定支援などに活用していく。また、「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者についても、重点的に経営状況の分析を行う。

## (2) 事業内容

### ① 「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析

経営課題を抱える小規模事業者を対象に、『安全性』、『収益性』、『成長性』などの経営指標や経営方針・今後の事業展開に活用できるセミナーを開催する。セミナー終了後、参加者の中から、意欲的で販路拡大の可能性の高い事業者を選定し経営分析につなげた。

#### (セミナーの開催内容)

##### ◇経営分析・事業計画策定支援セミナー

日 時 第1回 令和3年10月 4日(月) 13:30~16:00

第2回 10月18日(月) //

第3回 11月 1日(月) //

場 所 青森商工会議所会館1階 AOMORI STARTUP CENTER

講 師 株式会社エイチ・イーエル 東 正博 氏

参加者 9事業者 ○経営分析件数9件

### ② 「窓口相談」、「巡回相談」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析

経営指導員等が経営課題を抱える小規模事業者を訪問する巡回相談や、当所に設置している相談コーナーでの窓口相談で、補助金や各種事業計画の申請に係る経営指導・支援やヒアリングを通じて、経営状況の分析が必要な小規模事業者の掘り起こし経営分析を行った。

○持続化補助金申請支援時における経営分析数 40件

○事業再構築補助金申請支援時における経営分析数 17件

### ③ 「金融相談会・金融支援」による小規模事業者の掘り起こしと経営分析

日本政策金融公庫青森支店国民生活事業と共催による「日本公庫1日金融相談会(年1回)」、や「定例相談会(月2回)」、「日本公庫職員との帯同巡回」等を通じて、経営課題を抱える小規模事業者の掘り起こしを行う。また、マル経融資をはじめとした金融支援時に、『収益性』、『安全性』、『成長性』の財務分析を行うことにより経営改善や今後の事業展開のための事業計画策定に活用した。

○マル経推薦件数 65件

### ④ 「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の掘り起こしと経営分析

当所1階の「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した事業者の経営分析を行い、今後の事

業計画の見直し等へつなげた。

**○創業後の経営分析件数 1件**

**(3) 分析結果の活用**

分析結果は、事業者へフィードバックし事業計画の策定等に活用した。また、分析結果はデータベース化し、内部共有することで、経営指導員等のスキルアップに活用した。

**【目標と結果】**

	項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①-1「講習会等の開催」 開催回数	2回	2回	2回	2回	2回
	①-2「講習会等の開催」 分析件数	5件	5件	5件	5件	5件
	②「窓口相談」「巡回相談」における分析件数	30件	30件	30件	30件	30件
	③「金融相談会・金融支援」における経営分析	100件	100件	100件	100件	100件
	④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の経営分析	20件	20件	20件	20件	20件
	経営分析件数合計	155件	155件	155件	155件	155件
結果	①-1「講習会等の開催」 開催回数	3回				
	①-2「講習会等の開催」 分析件数	9件				
	②「窓口相談」「巡回相談」における分析件数	57件				
	③「金融相談会・金融支援」における経営分析	65社				
	④「AOMORI STARTUP CENTER」等を活用して創業した小規模事業者の経営分析	1社				
	経営分析件数合計	132件				

**4. 事業計画策定支援に関すること**

**(1) 現状と課題**

事業者が持続・発展するためには、目標を達成するための具体的な事業計画の策定が不可欠であ



るが、小規模事業者にとっては、日々の事業活動で精いっぱいであることが多く、経営状況の分析と同様に事業計画や目標を立てることなく事業を行っているケースは少なくない。また、これまで当所では、事業計画策定セミナーなどを実施し、小規模事業者へ対して事業計画策定の意義や重要性を伝えてきたが、当所での支援が不十分であったこともあり、実際に事業計画を策定する小規模事業者は多くはなかった。

## (2) 支援に関する考え方

事業者に対し事業計画策定の重要性を訴えるだけでは、なかなか実質的な行動や意識変化を促すことは難しいことから、補助金の申請を目的とした「事業計画策定セミナー」を開催するなど、事業者が事業計画策定に積極的に取り組むようなカリキュラムを設定するほか、上述の経営分析を行った事業者へ事業計画策定を促し、その内の3割程度の事業計画策定を目指す。また、青森市と連携し創業計画策定を支援するほか、青森県事業引継ぎ支援センターと連携し事業承継計画策定を支援する。

## (3) 事業内容

### ①「講習会等の開催」による小規模事業者の掘り起しと事業計画策定

上述の経営分析を行った事業者等を対象に「事業計画策定セミナー」を開催した。セミナー終了後、参加者の中から、意欲的で販路拡大の可能性の高い事業者を選定し事業計画の策定支援を行った。

#### (セミナーの開催内容)

##### ◇各種補助金の内容説明及び事業計画策定方法について

日時 令和3年8月25日(水)

・講習会 10:00～12:00

・個別相談会 13:00～16:00

場所 青森商工会議所会館1階 AOMORI STARTUP CENTER 及び ZOOM オンライン

講師 河合中小企業診断士社会保険労務士事務所 代表 河合正尚氏

参加者 ・講習会参加者 11事業者

・個別相談会参加者 3事業者

##### ◇事業計画策定(事業再構築補助金・持続化補助金等)支援個別相談会

日時 令和3年12月6日(月) 10:00～17:00

場所 青森商工会議所会館1階 AOMORI STARTUP CENTER

講師 アルト経営パートナー株式会社 代表取締役 中小企業診断士 加藤敦子氏

参加者 6事業者

○事業計画策定支援数 5件

### ②巡回・窓口相談による事業計画策定

経営指導員等が経営課題を抱える小規模事業者を訪問する巡回相談や当所に設置している相談コーナーでの窓口相談で、補助金の申請相談や金融相談等を行った事業者を対象に事業計画の策定支援を行った。

○持続化補助金申請支援時における事業計画策定支援数 38件

○事業再構築補助金申請支援時における事業計画策定支援数 14件

○金融相談の対象者に対する事業計画策定支援数 2件

### ③創業・第二創業計画策定支援

青森市と締結した「スタートアップの推進に関する連携協定」に基づき、当所1階に整備した「AOMORI STARTUP CENTER」において、青森市の起業・創業の専門家を中心となり、当所経営指導員と連携を図りながら、創業計画の策定支援を行った。

**○創業計画策定支援数 10件**

④事業承継計画策定支援

前述の経営分析や当所の経営課題アンケート調査において事業承継に課題を抱えると回答した事業者を対象に、当所経営指導員等が事業承継計画を策定する。高度、専門的課題には青森県事業引き継ぎ支援センター(21 あおもり産業総合支援センター)等と連携し対応した。

**○事業承継計画策定支援数 3件**

**【目標と結果】**

	支援内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①-1「講習会等の開催」 ・開催件数	2回	2回	2回	2回	2回
	①-2「講習会等の開催」 ・セミナー参加者への事業計画策定件数	5件	5件	5件	5件	5件
	②巡回・窓口相談による事業計画策定件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者を対象とする事業計画策定件数	20件	20名	20件	20件	20件
		15件	15件	15件	15件	15件
	③創業・第二創業計画策定件数	26件	28件	30件	32件	34件
	④事業承継計画策定件数	3件	3件	3件	3件	3件
	事業計画策定件数	69件	71件	73件	75件	77件
結果	①-1「講習会等の開催」 ・開催件数	2回				
	①-2「講習会等の開催」 ・セミナー参加者への事業計画策定件数	5件				
	②巡回・窓口相談による事業計画策定件数 ・各種補助金申請者を対象とする件数 ・金融相談者を対象とする事業計画策定件数	52件				
		2件				
	③創業・第二創業計画策定件数	10件				
	④事業承継計画策定件数	3件				
	事業計画策定件数	72件				

5. 事業計画策定後の実施支援に関すること

(1) 現状と課題

事業の持続・発展を推進するためには、策定した事業計画の目標達成に向けた継続的な取り組みが必要であるが、現状においては策定した事業計画の進捗状況や事業計画の見直し等の取り組みが十分とは言えない状況である。また、事業計画策定後の事業者の売上・利益等の経営数字を把握しながらの支援が組織として確立されていないことから、「BIZ ミル」等のシステムを活用し経営

数字の把握とデータベース化を進め所内での情報の蓄積と共有を図る。

## (2) 支援に対する考え方

事業計画を策定したすべての事業者を対象とするが、事業計画の進捗状況等により、訪問回数を増やして集中的に支援すべき事業者と、ある程度順調と判断し訪問回数を減らしても支障ない事業者を見極めたうえで、フォローアップ頻度を設定する。

## (3) 事業内容

事業計画を策定した事業者のうち、セミナー参加事業者、各種補助金申請者については年2回、金融相談者、創業・第二創業者、事業承継計画策定者は年1回フォローアップを行った。ただし、事業者からの申し出等により、臨機応変に対応した。

なお、進捗状況が思わしくなく、事業計画との間にズレが生じている場合には、エキスパートバンクやミラサポなど外部専門家など第三者の視点を投入し、当該ズレの発生要因及び今後の対応策を検討の上、フォローアップ頻度の変更等を行った。

## 【目標と結果】

	支援内容	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①フォローアップ対象事業者数					
	・当該年度に計画策定した者	69者	71者	73者	75者	77者
	・前年度に計画策定した者	—	69者	71者	73者	75者
	②フォローアップ件数					
	○当該年度に計画策定した者を対象とする件数					
	・セミナー参加者へのフォローアップ件数	10件	10件	10件	10件	10件
	・各種補助金申請者を対象とする件数	40件	40件	40件	40件	40件
	・金融相談者へのフォローアップ件数	15件	15件	15件	15件	15件
	・創業・第二創業計画策定者へのフォローアップ数	26件	28件	30件	32件	34件
	・事業承継計画策定者へのフォローアップ件数	3件	3件	3件	3件	3件
○前年度に事業計画を策定した者を対象とする件数 頻度（延件数）	—	69件	71件	73件	75件	
小計	94件	165件	169件	173件	177件	
売上増加事業者数	30者	30者	30者	30者	30者	
利益率3%以上増加の事業者数	30者	30者	30者	30者	30者	
結果	①フォローアップ対象事業者数					
	・当該年度に計画策定した者	72者				
	・前年度に計画策定した者	—				
	②フォローアップ件数					
	○当該年度に計画策定した者を対象とする件数					
	・セミナー参加者へのフォローアップ件数	5件				
	・各種補助金申請者を対象とする件数	52件				
・金融相談者へのフォローアップ件数	2件					
・創業・第二創業計画策定者へのフォローアップ数	19件					
・事業承継計画策定者へのフォローアップ件数	3件					
○前年度に事業計画を策定した者を対象とする件数 頻度（延件数）	—					
小計	81件					
売上増加事業者数 ※令和4年5月26日現在	15者					
利益率3%以上増加の事業者数 ※令和4年5月26日現在	15者					

## 6. 新たな需要の開拓に寄与する事業に関すること

### (1) 現状と課題

当所ではこれまで、「りんご」や「カシス」などの地域資源や、「裂き織」や「こぎん刺し」などの伝統工芸品などを取り扱う小規模事業者を対象に、首都圏で開催される展示会や商談会への出展支援を実施してきた。一方、地域内の顧客がメインである小売・サービス業を営む小規模事業者への新たな需要開拓に寄与する事業を実施していなかった。

また、青森・函館の事業所を対象に、青函でのビジネスマッチを継続的に実施してきたが、コロナウイルス感染拡大の影響により令和元年度は中止となった。さらに、ICT を活用した周知広報や EC 展開に対する支援が不十分であった。

### (2) 支援に関する考え方

小規模事業者を取り巻く環境が常に変化する中で、小規模事業者が事業を維持・発展するためには、既存の商品・サービスや顧客・販路を維持するだけでなく、新たな需要の開拓が必要である。

そこで、これまで実施してきた域外から外貨を獲得するための首都圏等での展示会・商談会への出展を継続するとともに、地域内の顧客がメインである小売・サービス業を営む小規模事業者を対象とする新規顧客獲得を目的とした事業を実施する。また、コロナウイルス感染拡大の影響により、積極的な県境をまたぐ展示会や商談等の実施や参加が難しい状況であることを考慮し、Zoom 等を活用したオンライン上でのビジネスマッチング事業を実施する。商談の実施にあたっては、FCP シートの作成や商談後の商品のブラッシュアップなどのフォローを行う。また、自社 WEB サイトやブログなどによる情報発信、SNS などを通じた顧客との関係構築、EC 展開への支援を行う。

### (3) 事業内容

#### ① 域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 (B to B)

「りんご」や「カシス」などの地域資源や、「裂き織」や「こぎん刺し」などの伝統工芸品などを取り扱う小規模事業者を対象に、域外への販路開拓のための各商談会、展示会への参加支援を行う。出展にあたり、FCP シートの作成や商談後の商品のブラッシュアップなどのフォローを行った。

#### (実施内容)

##### ◇ 兵庫・神戸アライアンス商談会 ONLINE

日 時 令和4年2月18日(金)～令和4年3月11日(金)

場 所 オンライン

内 容 神戸商工会議所主催のオンライン商談会

参加者 4事業者 ※商談成立件数 0件

#### ② 食品を販売する事業者等を対象にした催事及び展示販売会への出展支援の実施 (B to C)

経営状況分析や事業計画策定支援を行った小規模事業者(菓子製造小売店や食品加工事業者)の新規顧客獲得を目的に、地域内で開催される催事や展示販売会への出展を支援した。出店にあたり、自社の認知度向上や商品の PR 方法について事前に専門家による指導を受けたほか、必要があればその後の商品のブラッシュアップ等のフォローを行った。

【支援対象】菓子製造小売業や食品加工事業を営む小規模事業者

【支援の手段・方法】自社の認知度向上や商品の PR 方法について事前に専門家による指導を受け、AOMORI STARTUP CENTER 内で商品を販売した。



## 【目標と結果】

	項目	3年度	4年度	5年度	6年度	7年度
目標	①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 ・出展者数 ・成約件数	3社 1件	3社 1件	5社 1件	5社 1件	5社 1件
	②食品を販売する事業者等を対象とした催事及び展示販売会への出展 ・出展者数 ・売上額/社	3社 5万円	3社 5万円	5社 5万円	5社 5万円	5社 5万円
	③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 ・出展者数 ・成約件数	10社 2件	10社 2件	10社 2件	10社 2件	10社 2件
	④ITを活用した販路開拓支援の実施 ・支援事業者数 ・売上高5%以上増加の事業者数	3社 3社	3社 3社	5社 5社	5社 5社	5社 5社
結果	①域外への販路拡大を目的とした展示商談会への出展 ・出展者数 ・成約件数	4社 0件				
	②食品を販売する事業者等を対象とした催事及び展示販売会への出展 ・出展者数 ・売上額/社	3社 11万円				
	③「地域間ビジネスマッチングのオンラインモデル事業」による販路開拓 ・出展者数 ・成約件数	10社 0件				
	④ITを活用した販路開拓支援の実施 ・支援事業者数 ・売上高5%以上増加の事業者数	5社 3社				

## 経営発達支援事業の円滑な実施に向けた支援力向上のための取組

### 7. 事業の評価及び見直しをするための仕組みに関すること

#### (1) 現状と課題

当所ではこれまで、青森市、外部有識者（税理士、中小企業診断士）、当所専務理事で構成される「経営発達支援計画事業評価委員会」を設置し、実施状況、成果の評価を行い、正副会頭に報告し承認を受け、当所ホームページで公表を行ってきた。

今後は、構成メンバーに法定経営指導員を加えるとともに、コロナウイルス感染拡大による影響など小規模事業者を取り巻く環境が大きく変化する可能性もあることから、事業の見直しを強化し必要があれば事業内容を変更する。

#### (2) 事業内容

毎年度、本計画に記載の事業の実施状況及び成果について、以下の方法により評価・検証を行うとともに、事業の見直しについては委員会内で検討し必要があれば事業内容を変更する。

【構成メンバー】青森市担当課長、税理士、中小企業診断士、当所専務理事、法定経営指導員

【開催頻度】1回／年

【評価・検証方法】・青森市、税理士、中小企業診断士等の外部有識者と法定経営指導員により事業の実施状況、成果の評価・見直し案の提示を行う

・事業の成果・評価・見直しの結果については正副会頭に報告し、承認を受ける

・事業の成果・評価・見直しの結果を当所のホームページで計画期間中公表する

**○令和4年5月27日（金） ※書面開催**

## 8. 経営指導員等の資質向上等に関すること

### (1) 現状と課題

これまで当所では、日本商工会議所が主催する講習会や、中小企業大学校の主催する専門研修等の講習会に積極的に参加するとともに、当所が実施する年2回の経営指導員研修会等により、小規模事業者の経営力向上に向けた経営指導員の資質向上を図ってきた。また、所内において、支援ノウハウや小規模事業者の景気、需要、金融動向等の情報を交換する「経営指導員等情報交換会」を毎月開催し、若手経営指導員の伴走型の支援能力の向上を図ってきた。しかしながら、一般職員が経営指導や伴走型支援のノウハウを習得する機会が十分ではないことや、ベテランの経営指導員の支援ノウハウを組織として蓄積することが出来ていないという課題があった。今後は、一般職員への支援ノウハウの学習機会を増やすとともに経営支援システムである「BIZミル」を活用し、個人に帰属することが多い支援ノウハウを蓄積し組織内での共有を図る。

### (2) 事業内容

#### ①「経営指導員等情報交換会」の開催

経営指導員等の支援ノウハウや小規模事業者の景気、需要、金融動向等の情報を交換する「経営指導員等情報交換会」を毎月開催する。開催にあたっては、これまで対象だった若手経営指導員に一般職員も加えた。

**○経営指導員等情報交換会 20回開催**

**金融担当課以外の経営指導員に加え今後経営指導を行う若手職員にも交え、マル経審査会への推薦案件の融資のポイントや今後の経営支援の方策等について情報共有を図った。**

#### ②組織内での支援ノウハウの共有

経営支援システムである「BIZミル」を活用することにより、個人に帰属することが多い支援ノウハウを蓄積し、組織内で共有することにより当所の支援能力の底上げを図る。また、「BIZミル」の利用方法については、一般職員も含め研修会を開催する。

**○経営支援の担当課内において、BIZミルの利用方法について情報共有を行った。**

## 9. 他の支援機関との連携を通じた支援ノウハウ等の情報交換に関すること

### (1) 現状と課題

小規模事業者の取り巻く環境は多種多様であり、他の支援機関との連携による情報やノウハウ等の収集は当所が支援を行う上で欠くことができない。当所では、日本政策金融公庫、青森県信用保証協会、地元金融機関などの連携支援機関の会議や情報交換の場に積極的に参加することで、情報・ノウハウの収集及び人的なネットワーク構築を図ってきた。

今後も、上記支援機関との連携を強化し小規模事業者への支援体制の確立をめざす。

### (2) 事業内容

#### ①小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会（2回/年）

日本政策金融公庫青森支店と管内商工会議所が連携して、年2回の小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会を開催する。ここでは、管内経済動向や小規模事業者に対する金融、創業、経営支援の現状、課題、今後の取組みについての情報交換を行うことにより当地域における小規模事業者への支援及び地域振興に向けた支援力向上を図る。また、日本政策金融公庫青森支店担当者による毎月2回の金融相談窓口や管内事業所への同行巡回等により、金融専門家による融資手法等の支援ノウハウの習得を図った。

**○小規模事業者経営改善貸付事務連絡協議会 2回開催 ※オンライン開催**

#### ②その他支援機関との情報交換

青森県信用保証協会の「青森県中小企業支援ネットワーク会議（1回/年）」、青森県の「地域金融推進協議会（2回/年）」等において、地元金融機関、他支援機関等による支援ノウハウ、支援の現状、支援の課題等についての情報交換やミラサポ、よろず支援拠点の専門家との連携により、専門家による企業支援のノウハウ等の習得により支援力向上を図った。

#### ◇令和3年度 青森県中小企業支援ネットワーク会議

日時 令和3年12月20日（月） 14:00～17:00

場所 アップルパレス青森

#### ◇令和3年度 第1回地域金融推進協議会

日時 令和3年7月26日（月） 14:30～16:00

場所 ウェディングプラザアラスカ

#### ◇令和3年度 第2回地域金融推進協議会 ※書面開催

#### ◇第1回中小企業者等事業再構築サポート会議

日時 令和3年12月13日（月）

場所 県庁西棟8階中会議室

## 10. 地域経済の活性化に資する取り組みに関すること

### (1) 現状と課題

日本全国の地方都市において、少子高齢化が加速度的に進展する中、本市においても少子高齢化に伴う消費の停滞、商店街の衰退が続いており、人口減少社会への対応が喫緊の課題となってい



る。

青森市は平成30年3月に人口減少・少子高齢化の進展などの社会環境の変化に対応した、新たなまちづくりの方向性を示す計画として都市再生特別措置法に基づく「立地適正化計画」を策定し、「コンパクト・プラス・ネットワーク」の都市づくりを基本理念とし、都市の効率性を高めるコンパクトな複数の拠点として「地区拠点区域」を設定し、それらを接続する公共交通ネットワークを連携し、各地域の特色を活かした、持続可能なまちづくりを進めている。

中心市街地の活性化には、街なか居住や、域内外からの交流人口の拡大、安心・安全に歩けるウォークアブルタウンの整備など、賑わい創出が肝要であり、現在進められている「青森駅の整備事業（青森駅東西自由通路整備事業）」をはじめ、青森市で一番の長さを誇る青森市新町商店街における「中新町山手地区再開発事業」、株式会社中三（百貨店）跡地には、商業施設併設となる「青森市新町一丁目優良建築物等整備事業」など、街の魅力を向上させる再開発事業がスタートし、今後は、青森駅周辺整備事業を活かした中心市街地でのイベントやレンタサイクル事業を通して、回遊性の向上を高めると共に、賑わいのある魅力あるまちづくりを進めていくことが求められている。

また、青森県の観光では、インバウンド客は年々増加しており、令和元年の外国人延べ宿泊者数は35万6千人泊と、過去最高を記録した。東北では宮城県に次ぐ2番目の入込となり、青森市内にも多くのインバウンド客が訪れている。「空の玄関口」である青森空港では、週5便運航しているソウル線が就航25周年を迎え、平成30年7月から週2便で定期運航を始めた台北線も同年10月から週5便まで拡大し、路線の安定運航はもとより、新たな中国線の誘致など官民一体の積極的な利用促進策に期待が寄せられている。「海の玄関口」の青森港には20隻を超えるクルーズ客船が寄港し、下船した外国人観光客は中心市街地で買い物を楽しみ、市内の観光地を巡る。そして、令和3年の世界文化遺産登録を目指している「三内丸山遺跡」や、令和8年に開催が予定される「第80回国民スポーツ大会」など青森市を訪れる観光客が増加する機会をチャンスと捉え、青森市の街の魅力を発信していく必要がある。

当所は青森市、青森商店街連盟等、関係機関・支援機関と連携を強化し、地域経済の活性化に取り組む。

## (2) 事業内容

### ①国内外からの誘客推進事業

平成24年度より、青森空港の定期航空路線を活用した他地域からの誘客推進事業を実施しており、これまで、愛知県や三重県・岐阜県、さらに大阪府、北海道の商工会議所連合会をはじめとする経済界・企業等を訪問して、交流促進、観光セールス、MICE誘致を要請してきた。

今後は、コロナ渦中の観光客受入態勢を早急に整備し、定期航空路線を活用した国内旅行の促進や、関係行政・団体で構成するミッション団による経済界や企業に対して本県の地理的優位性を活かしたセールスとMICE誘致等に有効な情報提供を行い、交流人口の拡大を図り、外貨を獲得するとともに、定期航空路線が開設されている韓国、中国、台湾及び、クルーズ船の寄港で訪れる多くの外国人観光客の受け入れを積極的に行っていく。

### (実施内容)

#### ◇青森空港国際化促進協議会

○ 会議の開催

・ 定例総会

日 時 令和3年6月30日(水) (書面開催)  
議決権行使数 148名(賛成148名、反対0名)  
議 案 令和2年度事業報告書並びに収支決算書の承認について  
令和3年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の承認について

・ 事務局会議

日 時 令和3年6月11日(金) 11:00  
場 所 青森商工会議所 5階 ミーティングルーム1  
案 件 令和3年度青森空港国際化促進協議会定例総会付議案件について

日 時 令和3年11月10日(水) 13:30  
場 所 青森商工会議所 5階 役員応接室  
案 件 今年度事業について  
補正予算(案)について

○実施事業

・ ソウル定期便利用促進事業

「親子で体験！青森空港利用オンラインモニターツアー」

日 時 令和3年12月18日(土) 19日(日) 13:30  
場 所 青森空港

・ 台北定期便利用促進事業

「親子で体験！青森空港利用オンラインモニターツアー」

日 時 令和3年12月18日(土) 19日(日) 13:30  
場 所 青森空港

・ 国際定期便充実強化事業

青森・台北線 PR 特別番組「リモートリップ TAIWAN」制作及び放送  
放送日：令和4年3月27日(日)

・ 国際定期便等広報事業

東奥日報プラス「おうちで楽しむ韓国・台湾の旅」発行・折り込み  
青森空港国際化促進協議会ホームページリニューアル

・ 新型コロナウイルス感染症対策事業

協議会会員旅行代理店向け勉強会の実施

日 時：令和3年8月26日(木) 13:30～15:15  
場 所：青森空港ターミナル2階 会議室

**内 容：空港国際線ターミナルを利用したオンラインツアーのご案内  
2020年に増設された国際線ボーディングブリッジのご案内  
航空会社より現状の情報提供（大韓航空、エバー航空）**

**青森空港国際線再開に向けての商品造成勉強会の実施**

**日 時：令和4年3月9日(水) 13:30~14:10  
場 所：青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
内 容：12月開催「親子で体験！オンラインモニターツアー」報告  
同ツアー台湾部分の一部体験  
韓国電子渡航認証システムの情報提供**

②ヘルスケア・ビジネス創造事業

当所は、平成22年度より「旅と健康」をテーマに観光商品の開発に取り組み、当地の地形や気候を活用したドイツ式健康ウォーキングを体験観光メニューとして提供することを目指し、ガイドのスキルアップ等、商品化へ向け体制整備を図ってきた。

今後は、地域観光事業者、大学、金融機関をはじめとする地元企業、関係団体と連携し、観光商品化を推進するとともに、県内企業の健康経営に資する福利厚生プログラムとしての展開も推進していく。

**(実施事業)**

**地域観光事業者や地元大学と連携し、観光商品化の推進と県内企業の健康経営に資する福利厚生プログラムを展開した。**

**○会 議**

**・クア(健康)ガイド協会総会**

**日 時 令和3年4月9日(金) 11:00  
場 所 青森商工会議所 5階 ミーティングルーム1**

**・クア(健康)ガイド協会反省会**

**日 時 令和3年11月30日(火) 11:30  
場 所 青森商工会議所 5階 ミーティングルーム1**

**○青森銀行と連携したドイツ式健康ウォーキングの開催  
新型コロナウイルス感染症の影響により中止。**

**○一般参加者を対象とするドイツ式健康ウォーキング**

**・第1回**

**日 時 令和3年5月16日(日) 9:00~12:00  
場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)  
参 加 者 18名**

**・第2回**

日 時 令和3年6月13日(日) 9:00~12:00  
場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)  
参加者 14名

・第3回

日 時 令和3年7月18日(日) 9:00~12:00  
場 所 浅虫エリア(浅虫温泉海山クアの道)  
参加者 17名

※9月は新型コロナウイルス感染症の影響により中止。10月は荒天により中止

○その他

ヘルスツーリズム認証取得記念「あおもりペイタラソウオーク&ヨガ」

日 時 令和3年 10月10日(日) 9:30~12:00  
場 所 あおもりペイエリア  
参加者 21名

③中心市街地活性化事業

少子高齢化、消費生活等の状況変化に対応して、中心市街地における都市機能の増進及び経済活力の向上を一体的に推進するため、中心市街地活性化協議会(事務局:青森商工会議所)及び四者連携(JR 東日本、青森県、青森市、青森商工会議所)等の取組により、中心市街地の活性化と回遊性向上を、民間主導の再開発事業や青森駅を中心とした一体的整備事業、広域的なソフト事業等を促進させることで市民はもとより来街者の流入を加速させる魅力あるまちづくりを進める。

・青森市中心市街地活性化協議会総会の開催(年1回)

魅力あるまちづくりの推進に向け、青森市の中心市街地の活性化を協議するため、当所が事務局となり、青森県、青森市、青森警察署、青森県商店街振興組合連合会、青森銀行、みちのく銀行、(公社)青森観光コンベンション協会などの関係者が参画する協議会を年1回開催する。

事業実施にあたっては中心市街地活性化に係る総合調整・事業等について協議・決定する運営委員からなる運営委員会(年2回開催)が主体となり、協議会事業として「まちなかレンタサイクル事業」、「歩行者通行量調査事業」、街区の清掃や、来街者に対する観光案内、商店街情報発信を行う「まちなかサポーターズ事業」を実施する。

また、青森の「食」を活用し、中心市街地エリアでの回遊性向上による賑わい創出を目的として実施する「あおもりバル街」、ゴールデンウィーク期間中の中心市街地のにぎわいづくりと、青森の春を彩る一大イベントの定着を目的として実施する「AOMORI 春フェスティバル」等、ソフト事業の支援も行う。

(実施事業)

中心市街地における、市街地整備事業(再開発事業等)の具現化を推進するために、当該地区権利者等によって検討されている活性化プロジェクトの実現に向けた取り組みについて支援した。

○中新町山手地区第一種市街地再開発事業への支援

※オブザーバーとして参加

会議開催状況

通常総会	令和3年	6月16日(水)
理事会	令和3年	4月7日(水)
	令和3年	4月28日(水)
	令和3年	9月3日(金)
	令和3年	10月29日(金)
	令和4年	1月20日(木)
	令和4年	2月15日(火)
	令和4年	3月22日(火)
住民説明会	令和3年	5月19日(水)
安全祈願祭	令和3年	5月25日(火)

○その他の市街地整備事業に対する支援

・商店街空き店舗調査

◇「青森市リノベーションまちづくり推進協議会」への協力

○青森市リノベーションまちづくり推進事業

本市のストック(建物、空間等)を活用して自律的な活動を民間組織が生み出していくリノベーションまちづくりを推進するため、新たなまちづくりの担い手の発掘や育成、リノベーションまちづくり推進イベント等を実施した。

・リノベーションスクール@青森 アシタノアオモリ  
～家守育成編～

日 時 令和4年3月5日(土)・6日(日)

場 所 青森商工会議所 7階 研修室・AOMORI STARTUP CENTER

・まちなかりノベ CAMP

日 時 令和4年3月21日(月) 17:00

場 所 PENT HOUSE

◇新町一丁目・古川一丁目周辺街区賑わい創出事業

青森市新町一丁目地区優良建築物整備事業(THREE)の工事が本格化する中、都市機能誘導区域として、街区形成の在り方の検討及び、起業・創業希望者や地域事業者によるマッチング事業を中心市街地活性化協議会と協力の上、ワーキングを行った。

○第1回ワーキング

日 時 令和3年10月25日(月) 15:00

議 案 1)事業概要について  
2)今後の進め方について

講演 「自分たちで街ににぎわいを生み出す仕組みづくり—街の関係人口を育むまち育て—」

講師 弘前大学教育学部 教授 北原啓司氏

○第2回ワーキング

日時 令和3年12月20日(月) 16:00

場所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER

○第3回ワーキング

日時 令和4年3月2日(水) 16:00

場所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER

◇「商業活性化」推進事業

流動人口増加並びに街区内的の回遊性を向上させるためのソフト事業を実施する。

○まちなかレンタサイクル事業

実施期間 令和3年4月29日(木・祝)～令和3年10月31日(日)

貸出場所・台数	青森駅前自転車等駐車場(指定管理者:青森アドセック株)	25台
	青森県観光物産館アスパム	2台
	ホテル青森	10台
	ホテルサンルート青森	2台
	アートホテル青森	3台
	青森県営駐車場(指定管理者:(株)ブルーマウステクノロジー)	3台

貸出実績 計1,082台(令和元年度比980台減)

※令和2年度はコロナウイルスの影響で実施せず

○まちなかサポーターズ事業(しかへらあ～s)

実施期間 令和3年4月～令和4年3月

4月17日、4月25日、5月22日、5月23日、6月19日、  
6月26日 計6日間

構成員 青森公立大学学生 計52名(前年比7名増)

活動内容 来街者に対する挨拶・清掃活動

参加実績 AOMORI SIX 合同学修研究発表会 ※オンライン出席

◇事業効果の検証及び活性化事業調査研究

中心市街地及び他の関連する地区における調査や意見聴取等を実施し、将来の事業計画策定等に資する効果検証事業を行う。

○歩行者通行量調査等の実施

春季調査: 令和3年 6月25日(金) 7:00～19:00

26日(土) 9:00～19:00

全41地点

秋季調査: 令和3年10月29日(金) 7:00～19:00

30日(土) 9:00~19:00

全21地点

※通勤者の計測を目的に、平日の調査時間を7:00から実施した。

・株式会社まちづくり青森との連携

中心市街地の賑わい創出を目的に、当所の出資により設立した「株式会社まちづくり青森」は、中心市街地への出店を目指す新規起業者のチャレンジショップである「パサージュ広場」の運営を担い、当所が新会館1階に整備した「AOMORI STARTUP CENTER」と連携し、チャレンジショップで新たに起業する事業者の伴走型支援を行う。また、当所が事務局を担う青森市中心市街地活性化協議会事業の内、「まちなかレンタサイクル事業」、「まちなかサポーターズ事業」等を「株式会社まちづくり青森」へ委託することにより、中心市街地の賑わい創出を目指す各種事業の効率のよい円滑な事業運営を図り、中心市街地の活性化に寄与する。

(実施事業)

◇(株)まちづくり青森への事業協力

都市の魅力づくりを総合的に推進し、中心市街地の活性化を実現するために(株)まちづくり青森の運営と、さらなる活用方法の検討を行った。また、パサージュ広場における商業ベンチャー支援事業について、同社と共同で効果的な運営を行った。

◇商業ベンチャー支援業務の受託について

パサージュ広場の出店者の経営指導並びに施設の運営管理を行う「青森市商業ベンチャー支援事業」について、AOMORI STARTUP CENTERとの連携によって、より専門的な経営指導や独立支援を行う事で、起業者への支援を充実させていくことを目的に、青森市からの業務委託を受託し、事業を実施した。

○商業ベンチャー支援業務の受託期間

期 間 令和3年4月1日~令和4年3月31日

○商業ベンチャー支援業務の内容

・運営方針の作成

「令和3年度 商業ベンチャー支援業務に係る運営方針」を作成

・出店者の状況について(令和4年3月31日時点)

区画	店舗名
A-1	BAR
A-2	メキシコ食堂 トレス
A-3	麺処 石岡喜一郎商店
B-1	バル酒場 お陽さまが見てるよ
C-1	ウマイモノ 食べ呑み処おんず食堂
C-2	リトル台湾ご縁

C-3	手もみや太陽 (令和3年8月13日から空き)
C-4	THE KAPS
D-1	新町チキン

## 出店状況の報告

青森市に対し、毎月出店状況について報告を行った。

### ・パサージュ広場出店者協議会の開催について

令和3年4月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和3年4月15日(木) 14:30

出席者 13名

令和3年5月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和3年5月20日(木) 14:30

出席者 9名

令和3年6月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和3年6月17日(木) 14:30

出席者 7名

令和3年7月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和3年7月15日(木) 14:00

出席者 8名

令和3年8月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和3年8月19日(木) 14:00

出席者 9名

令和3年9月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和3年9月16日(木) 14:00

出席者 10名

令和3年10月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和3年10月21日(木) 14:00

出席者 8名

令和3年11月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和3年11月17日(水) 14:00

出席者 8名

令和3年12月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和3年12月15日(水) 14:00

出席者 10名

令和4年1月パサージュ広場出店者協議会

日 時 令和4年1月19日(水) 14:00

出席者 6名

令和4年2月パサージュ広場出店者協議会



日 時 令和4年2月16日(水) 14:00  
出席者 9名  
令和4年3月パサージュ広場出店者協議会  
日 時 令和4年3月16日(水) 14:00  
出席者 8名

・支援施設の確保

商業ベンチャー支援業務の実施のため、支援施設を確保（賃借）し、管理を行った。

・イルミネーションの設置及び撤去

点灯期間 令和3年11月26日から令和4年2月28日まで

・四者連携事業

平成30年6月に、青森県、青森市、青森商工会議所及び東日本旅客鉄道株式会社の四者により締結した「青森駅周辺のまちづくりに関する連携協定」の取組として、青森駅を中心としたまちづくりの活性化に向けたプロジェクトタイトル「AOMORI CONNECTION～つなぐアオモリのミライ～」を用いた情報発信を皮切りに、令和2年度末にJR青森駅の新駅舎及び東西自由通路が供用開始されることから、現青森駅舎跡地等の活用を検討するハード事業、駅前公園等の公共空間を活用したイベントの開催を推進していくソフト事業の両面から、青森駅周辺の賑わい創出を目指す。

(実施事業)

◇青森駅周辺整備に関する要望

実施日 令和3年11月17日(水)  
要望先 国土交通省政務三役、国道交通省都市局、財務省政務三役、財務省主計局、県選出国會議員  
要望者 青森県、青森市、青森商工会議所、東日本旅客鉄道株式会社  
要望趣旨 青森駅周辺整備事業の着実な推進に向けた安定的かつ十分な予算確保

◇青森駅を中心としたまちづくりの推進

・ソフト連携分科会ワーキング

第1回

日 時 令和3年4月14日(水) 13:30  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER

第2回

日 時 令和3年6月2日(水) 14:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER

第3回

日 時 令和3年8月4日(水) 13:30

場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
第4回  
日 時 令和3年11月5日(金) 13:30  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER

・ AOMORI CONNECTION クイズラリー

日 程 令和3年12月11日(土)～26日(日)  
ラリー用紙配布先 JR青森駅、青森市観光交流情報センター、青森駅ビルラビナ、  
青森市駅前庁舎交流推進課窓口、A-FACTORY、青森県観光物産  
館アスパム、青森商工会議所1F 先着450名に景品を配布。

・ ハード連携分科会ワーキング

日 時 令和4年3月23日(水) 14:00  
場 所 青森商工会議所 7階 研修室

④青森地域5大学等との連携事業

・ 青森地域産学連携懇談会の開催(年1回)

当所は、青森地域5大学及び2短期大学(弘前大学、青森県立保健大学、青森公立大学、青森大学、青森中央学院大学、青森中央短期大学、青森明の星短期大学)と産学連携協定を締結している。

青森地域の大学の「知」を活かし、地域の課題に迅速かつ適切に対応し、活力ある個性豊かな地域社会の形成と発展に寄与することを目的としており、地域産業の振興、地域活性化(中心市街地活性化等)、健康福祉の増進、人材育成に関する連携・協力を円滑に進めるための情報交換・共有の場として懇談会を開催する。(年1回)事務局:青森商工会議所

(事業内容)

◇青森地域産学連携懇談会の開催

○事務局会議

日 時 令和3年6月8日(火) 13:30  
場 所 オンライン会議  
参 加 者 13名  
内 容 令和3年度青森商工会議所と青森地域7大学・短大との連携事業について  
あおりフィールドスタディ支援事業補助金について  
立教大学社会デザイン研究所との連携事業について

○青森地域産学連携懇談会

日 時 令和3年8月2日(月) 13:30  
場 所 ホテル青森 3階 孔雀の間  
参 加 者 42名

報 告 各大学・短期大学が実施している産学連携事業等について報告  
青森商工会議所と立教大学社会デザイン研究所との連携協定に基づく事業に  
ついて報告

・まちなかキャンパスの開催

青森地域産学連携懇談会事業として、大学の地域貢献の観点から、中心市街地活性化の一環として、街区内の公共施設等を会場に、各大学がそれぞれ一般・学生を対象とした公開講座「まちなかキャンパス」を開催する。(年 30 講座程度)

(実施事業)

◇青森公立大学公開講座2021 大学院公開セミナー

○第1回「青森県における人口減少対策としての外国人人材：青森県生実習生受け入れの状況と今後」

日 時 令和3年6月29日(火) 19:00  
場 所 アウガ 5階 カダール研修室  
講 師 青森公立大学 教授 佐々木 てる 氏

○第2回「分配に関する社会的評価の基準：望ましい分配とはどのようなものか」

日 時 令和3年7月8日(木) 19:00  
場 所 アウガ 5階 カダール研修室  
講 師 青森公立大学 教授 森 統 氏

○第3回「科学技術と市民：経営学の視角から」

日 時 令和3年7月13日(火) 19:00  
場 所 アウガ 5階 カダール研修室  
講 師 青森公立大学 教授 藤沼 司 氏

○第4回「現代経営組織論の一動向：『組織と制度』を巡って」

日 時 令和3年7月27日(火) 19:00  
場 所 アウガ 5階 カダール研修室  
講 師 青森公立大学 教授 藤井 一弘 氏

◇ねぶた学～ねぶた祭中止を乗り越えて：ねぶた師の想いとその取り組み～

日 時 令和3年10月14日(木) 18:30  
場 所 アウガ 5階 AV多機能ホール  
講 師 ねぶた師 千葉 作龍 氏

日 時 令和3年10月28日(木) 18:30  
場 所 アウガ 5階 AV多機能ホール  
講 師 ねぶた師 諏訪 慎 氏

日 時 令和3年11月11日(木) 18:30  
場 所 アウガ 5階 AV多機能ホール  
講 師 ねぶた師 山内 龍星 氏

日 時 令和3年11月18日(木) 18:30  
場 所 アウガ 5階 AV多機能ホール  
講 師 ねぶた師 京野 和鴻 氏

日 時 令和3年11月25日(木) 18:30  
場 所 アウガ 5階 AV多機能ホール  
講 師 ねぶた師 竹浪 比呂央 氏

日 時 令和3年12月11日(土) 13:00  
場 所 新町キューブ グランパレ  
講 師 青森公立大学 教授 佐々木 てる 氏

#### ○青森中央学院大学

・異文化理解講座～日本と諸外国の文化の違いについて学んでみよう～

##### 第1回「日中における思考回路の対比について」

日 時 令和3年5月20日(木) 10:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
講 師 青森中央学院大学 経営法学部教授 藤巻 啓森 氏

##### 第2回「草原の国・モンゴルの社会変化と食文化」

日 時 令和3年6月10日(木) 10:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
講 師 青森中央学院大学 経営法学部講師 庄子 元 氏

##### 第3回「日本・ベトナムの文化の違いについて」

日 時 令和3年7月8日(木) 10:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
講 師 青森中央学院大学 経営法学部准教授 ゲェン・チ・ギア

##### 第4回「現地日系企業社員に聞く・コロンビアの歴史と文化」

日 時 令和3年8月12日(木) 10:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
講 師 青森中央学院大学 経営法学部助教 志喜屋 カロリーナ

・青森中央学院大学まちなかキャンパス公開講座2021 ころもからだも生き生き健康  
生活に

第1回「日常生活で工夫するころの健康」

日 時 令和3年5月29日(土) 10:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
講 師 青森中央学院大学 看護学部准教授 精神看護学 川添 郁夫 氏

第2回「認知症とその予防について～生活習慣を見直しませんか～」

日 時 令和3年6月26日(土) 10:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
講 師 青森中央学院大学看護学部准教授 老年看護学 中川 孝子 氏  
青森中央学院大学看護学部助教 老年看護学 熊谷 和可子 氏

第3回「からだの変化を理解しよう」

日 時 令和3年10月9日(土) 10:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
講 師 青森中央学院大学看護学部教授 臨床医学 坂井 哲博 氏

第4回「高齢者の社会参加について～『+C』で健康寿命を延ばそう！～」

日 時 令和3年11月13日(土) 10:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
講 師 青森中央学院大学看護学部助教 公衆衛生看護学 太田 尚子 氏

・留学生による「青森県の観光スポットを外国語で紹介してみよう！」

日 時 令和3年11月5日(金)、19日(金)、26日(金)  
令和3年12月3日(金)、10日(金)、17日(金)  
場 所 青森中央学院大学サテライトキャンパス 2階、オンライン

○青森中央短期大学

・青森中央学院大学まちなかキャンパス公開講座2021

第1回「座ったままでできる日用品を使った健康ストレッチ」

日 時 令和3年7月14日(水) 10:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
講 師 青森中央短期大学 専攻科福祉専攻 齋藤 雅美 氏

第2回「青森の食文化・郷土料理について学ぶ」

日 時 令和3年8月11日(水) 10:00

場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
講 師 青森中央短期大学 食物栄養学科 池田 友子 氏

第3回「なぜ太る？太ると体はどうなるの？」

日 時 令和3年9月1日(水) 10:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER  
講 師 青森中央学院大学 食物栄養学科 千葉 綾乃 氏

○青森県立保健大学

・大学院公開ゼミ 私たちの生活と健康を守る研究と実践

第1回「つながりが健康に効く」

日 時 令和3年8月28日(土) 13:00  
場 所 アスパム 5階 白鳥  
講 師 青森県立保健大学大学院 産業保健研究室 准教授 千葉 敦子 氏

第2回「多層的予防介入による自殺予防対策」

日 時 令和3年8月28日(土) 13:00  
場 所 アスパム 5階 白鳥  
講 師 青森県立保健大学大学院 精神保健福祉研究室准教授 坂下 智恵 氏

・立教大学社会デザイン研究所との連携事業

立教大学社会デザイン研究所と共に、先進事例の情報収集や調査研究を行いながら、本市の社会的課題の洗い出し、シーズの発掘や実証実験等を通じ、地域課題解決に資する新たなビジネスの創出に向けセミナー、ワークショップといった個者支援事業を行う。(年5回)

(実施事業)

◇ 立教大学社会デザイン研究所×青森商工会議所「地域活力を生み出す人財育成塾」

日 時 令和3年8月28日(土) 13:30  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン  
講 師 山崎 宇充 氏 立教大学社会デザイン研究所、東京メトロポリタンテレビジョン株式会社常務取締役  
中村 陽一 氏 立教大学社会デザイン研究所長・教授、青森中央学院大学客員教授

参加者 35名

◇人財育成 雪花雪中塾の開催

第1回

日 時 令和3年9月25日(土) 13:30  
場 所 オンライン

テーマ 社会を「デザイン」する考え方と今後の地方創生学  
講師 山崎 宇 充 氏 立教大学社会デザイン研究所、東京メトロポリタン  
テレビジョン株式会社常務取締役  
中 村 陽 一 氏 立教大学社会デザイン研究所長・教授、青森中央学  
院大学客員教授  
参加者 45名

#### 第2回

日時 令和3年10月16日(土) 13:30  
場所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン  
テーマ 地域とサポーターを繋ぐ新たなコミュニティの仕組み  
ゲスト 井上 英 昭 氏 ビートレンド株式会社 代表取締役社長  
講師 山崎 宇 充 氏 立教大学社会デザイン研究所、東京メトロポリタン  
テレビジョン株式会社常務取締役  
中 村 陽 一 氏 立教大学社会デザイン研究所長・教授、青森中央学  
院大学客員教授  
参加者 30名

#### 第3回

日時 令和3年11月26日(金) 18:00  
場所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン  
テーマ 地域経済を活性化させるオムニチャネル戦略  
ゲスト 寺 田 豊 計 氏 A2O株式会社 代表取締役社長  
講師 山崎 宇 充 氏 立教大学社会デザイン研究所、東京メトロポリタン  
テレビジョン株式会社常務取締役  
中 村 陽 一 氏 立教大学社会デザイン研究所長・教授、青森中央学  
院大学客員教授  
参加者 32名

#### 第4回

日時 令和3年12月10日(金) 18:00  
場所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン  
テーマ 地方創生学 地域力の組み立て方  
講師 山崎 宇 充 氏 立教大学社会デザイン研究所、東京メトロポリタン  
テレビジョン株式会社常務取締役  
中 村 陽 一 氏 立教大学社会デザイン研究所長・教授、青森中央学  
院大学客員教授  
参加者 28名

## 第5回

日 時 令和4年1月21日(金) 18:00  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン  
テ マ 地方とDX 新たな仕組みによる地域活性化  
講 師 山崎 宇充氏 立教大学社会デザイン研究所、東京メトロポリタン  
テレビジョン株式会社常務取締役  
中村 陽一氏 立教大学社会デザイン研究所長・教授、青森中央学  
院大学客員教授  
参加者 29名

## 第6回

日 時 令和4年3月17日(木)  
場 所 青森商工会議所 1階 AOMORI STARTUP CENTER、オンライン  
テ マ 第1期 雪花雪中塾 まとめ講義  
講 師 山崎 宇充氏 立教大学社会デザイン研究所、東京メトロポリタン  
テレビジョン株式会社常務取締役  
中村 陽一氏 立教大学社会デザイン研究所長・教授、青森中央学  
院大学客員教授  
参加者 29名

### ⑤コロナ禍における商取引支援事業

新型コロナウイルス蔓延によって外出自粛や休業要請など事業所が混乱状況の中、来店客数の減少による食品ロスの問題や、物産展・イベント等の中止または延期になったことによる食材や商材の過剰在庫の解消と、急激に落ち込んだ売上の回復・販売促進の支援を目的に「ふんばるアオモリ ヒト・モノ・コト情報広場」と題し、各事業所の在庫情報を収集しWEB上で公開、購入を希望する一般消費者に対し、幅広く情報を発信する。また、事業所間取引を推し進めるため、事業者が提供できる商品や物資、サービスなどの「売ります」情報と、それを求める事業者の「買います」情報が、互いに閲覧できるサイトも開設する。

#### (実施事業)

##### ◇コロナ禍における商取引支援事業

新型コロナウイルス感染症の蔓延に伴い、外出自粛や時短要請など商機が蒸発化した事業所を支援するために「ふんばるあおもり」事業を展開した。また、冷え込んだ消費を回復すべく、「プレミアム付き商品券」事業を実施した。

##### ○「ふんばるアオモリ」プロジェクトの実施

- ・ ふんばるアオモリ テイクアウト（令和2年4月7日～）

新型コロナウイルスの感染拡大が、地域経済には大きな影響を及ぼし、市内の宴会場や飲食店が厳しい状況となっていることを受け、新たにテイクアウトやデリバリーサービ



スを始める事業所、既に提供されている事業者を紹介するサイトを新設し、飲食店のPRを応援した。180事業所が参加。

・ ふんばるアオモリ タクシー（令和2年4月10日～）

「ふんばるアオモリ テイクアウト」の利用を拡大すべく、青森市タクシー協会の協力を得ることで、テイクアウトメニューを自宅まで届ける（買い物代行サービス）スキームを案内。現在まで4事業所（珍田タクシー・三八五観光タクシー・相互交通・北星交通タクシー会社）で実施。

・ ふんばるアオモリ ヒト・モノ・コト情報広場（令和2年4月17日～）

商品・物資・サービスなどの「売りたい」情報提供と、事業者の「買いたい」ニーズ等が閲覧・マッチングできる情報掲示サイト「緊急在庫マーケット」。「ヒト」情報は16事業所、「モノ」情報は44事業所、「コト」情報は7事業所から寄せられた。

・ ふんばるアオモリ Let's Eat!（令和2年11月30日～）

感染症対策を実施している飲食店をホームページで紹介。ホームページ掲載店舗は185店舗の参加があった。また、感染状況が悪化し、市民の飲食店を訪れる足が遠のいている状況を鑑み、更にきめ細かい感染症対策項目を追加し、対策を講じている店舗は「Let's Eat!」特設ページ上で改めてご紹介した。追加した感染対策項目を実施している店舗は59件。

・ ふんばるアオモリテイクアウトマーケット

ふんばるアオモリテイクアウトマーケット supported by 青森エール飯「ランチ」

日 時 令和3年7月26日（月）～8月27日（金）※土、日除く

11:30～13:30

場 所 青森市役所本庁舎 1階

店 舗 数 22店舗

提供食数 約4,000食

・ ふんばるアオモリテイクアウトマーケット supported by 青森エール飯「ディナー」

日 時 令和3年7月30日（金）、8月6日（金）、20日（金）、27日（金）

17:00～19:00

場 所 青森商工会議所会館 1階 AOMORI STARTUP CENTER

店 舗 数 各日10店舗程度

提供食数 約500食

・ ふんばるアオモリテイクアウトマーケット supported by 青森商工会議所青年部

帰ってきた！毎日大好評 ランチテイクアウト

日 時 令和3年10月4日(月)～10月29日(金) ※土、日除く  
11:30～12:45  
場 所 青森市役所本庁舎 1階  
店 舗 数 26店舗  
提供食数 3,382食

- ・ふんばるアオモリテイクアウトマーケット supported by 青森商工会議所青年部  
青森飲食店お弁当市

日 時 令和3年11月15日(月)～19日(金) 11:30～12:45  
場 所 青森市役所駅前庁舎 1階 駅前スクエア  
店 舗 数 19店舗  
提供食数 1,170食

- ・ふんばるアオモリ #青森エール飯 テイクアウトマーケット in 青森県民生活協同組合

日 時 令和4年3月7日(月)～18日(金) 11:00～14:00  
場 所 生協4店舗に飲食店2～3店舗出店  
(あじさい館、アカシア館、つくだ店、コスモス館)  
店 舗 数 18店舗  
提供食数 7,641食

※消費喚起事業「ふんばるアオモリ」プロジェクトは専用ホームページを開設しており、事業全体の閲覧数は令和3年4月～令和4年3月までで、93,307人だった。

- ◇「Go To Eat」事業の周知活動等へ協力(令和2年11月30日～)

国策である「Go To Eat」事業の周知や参加店舗の募集について、ホームページ等の広報媒体を活用し、広く会員事業所等へPRした。

- ◇「あおもり飲食店感染防止対策認証制度」事業の周知活動等へ協力(令和3年6月9日～)

青森県で実施する「あおもり飲食店感染防止対策認証制度」事業の周知や、認証の促進についてホームページ等の広報媒体を活用したほか、郵送等でも広く会員事業所等へPRした。

- ◇新型コロナウイルス感染状況改善に伴う飲食店利用の促進について(緊急要請)

青森県が9月に実施した感染防止対策パッケージや青森市民のワクチン接種(接種率約75%)などの取組みにより、11月時点、青森市内では感染状況が落ち着きを見せていたことや、県が認証する「あおもり飲食店感染防止対策認証制度」が多くの店舗で活用されていることを鑑み、域内需要の循環を加速させる一環として、飲食店の書入れ時となる年末年始に向けて、職員や社員を多く雇用している団体や会社に対して、積極的な飲食店利用を奈良

副会頭、浪内観光サービス部会長が要請した。

・青森市教育委員会

日 程 令和3年11月9日(火)  
対 応 者 教育長 成田 一二三氏  
教育部長 小野 正貴氏  
教育次長 大久保 綾子氏

・青森銀行

日 程 令和3年11月9日(火)  
対 応 者 取締役専務執行役員 石川 啓太郎氏  
執行役員営業推進部長 葛西 俊介氏

・青森市小学校校長会

日 程 令和3年11月9日(火)  
対 応 者 青森市立新城中央小学校 校長 福原 正人氏

・青森市中学校校長会

日 程 令和3年11月10日(水)  
対 応 者 青森市立造道中学校 校長 前田 眞己氏

・みちのく銀行

日 程 令和3年11月10日(水)  
対 応 者 業務執行役員営業本部長 福士 勝彦氏  
地域創生部部長 中川原 有祐氏

・青森県議会事務局

日 程 令和3年11月10日(水)  
対 応 者 事務局長 平松 健氏  
事務局次長 中野 弥寿喜氏

・青森市中学校校長会

日 程 令和3年11月11日(木)  
対 応 者 青森市立西中学校 校長 今別 幸司氏

・日本原燃株式会社

日 程 令和3年11月18日(木)  
対 応 者 代表取締役副社長 高瀬 賢三氏

・青森県教育委員会

日 程 令和3年11月19日(金)  
対 応 者 教育長 和嶋 延寿氏

・青森市議会

日 程 令和3年11月19日(金)  
対 応 者 議長 長谷川 章悦氏  
副議長 藤田 誠氏

・青森県

日 程 令和3年11月19日(金)

対 応 者 商工労働部長 相馬 雄幸氏

・青森市

日 程 令和3年11月26日(金)

対 応 者 副市長 能代谷 潤治氏

以 上